

令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	一般部門
------	------

※プルダウンから選んでください

【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	水本コーディネーター
事前相談日	2025/1/29、2025/4/20、2025/4/27

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	ダイバーシティ人権政策課
事前相談日	2025/4/21

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。(プルダウンになっています)

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	○
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	○
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。(申請者・団体概要をそれぞれ記入要)	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。(昨年度採択されている事業で、新しい工夫・発展性が見受けられる場合は除く)	○

【3】申請者・団体概要

団体の名称	Take a step
団体名称のフリガナ	テイク・ア・ステップ
代表者	以下に記入してください。
役職名	代表
氏名	小島 悦子
氏名のフリガナ	コジマ エツコ
団体の所在地	■■■■■■■■■■
郵便番号	■■■■■■
電話番号	■■■■■■■■■■
メールアドレス	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
担当者連絡先	以下に記入してください。
役職名	理事
氏名	高松 美樹
氏名のフリガナ	タカマツ ミキ
団体の所在地	■■■■■■■■■■
郵便番号	■■■■■■
電話番号	■■■■■■■■■■
メールアドレス	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
携帯電話番号	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
構成員	計 5名
(内訳)	(1) 市内関係者 4名 (2) その他 1名
設立年月日 (西暦)	2024年 4月 1日 (設立 2年目)
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料(団体パンフレット、HP等)を併せて提出してください。
(1) 設立の目的	SDGs 5ジェンダーの平等を実現するために、子供のころから、無意識を意識して、相手を尊重すること、思いやりをもつことが必要と考えました。学校や家庭以外の第3の居場所としての機能をもち、自由で安全な学びの場を提供するために設立しました。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	
(2) 今後の目指していききたいこと	<p>【団体のビジョン】</p> <p>包括的性教育とは、すべての人がもっている「からだところの権利」を学び「自分の体のことは自分が決める」ことを理解する教育です。</p> <p>保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校で包括的性教育が教科の一つとなり、幼い頃からすべての子供が学ぶことができることを目指しています。</p> <p>子どもたちが自分の体を科学的に理解し、心の権利を知ることで、自分を守り男女の性別による無意識の思い込みで将来をあきらめることのない金沢を。</p> <p>【団体のミッション】</p> <p>包括的性教育「からだ・こころの権利」を市民のみなさんに知っていただくため</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラフトやワークで自分の気持ちを考える「同意ってなに？キミはキミの国の国王」の開催 ●包括的性教育先進地域の講師とオンライン会議形式でこちらのスタッフで実験を用意して双方でやり取りができる講座の開催 ●地元の講師と対面で開催する講座 ●大人向け 私たちを守る”薬”の講座 <p>親子での参加。親子で参加することでタブーではないことを意識づけ保護者は子供が性的に困ったとき一番の相談者となる。</p> <p>【今後行っていききたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育てイベントなどに参加して、チャレンジ事業で制作したワークやゲームをブースで開催していききたい。 ●青少年の施設などで、意識調査をして、統計をとりたい ●包括的性教育を広めてくれる講師を目指す方々のサポートをしていきたい。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	

活動概要	以下に記入してください。
(1) 主な活動履歴	<p>24年8月12日 「避難所で適切に生理用品を配布せよ！」 講師に性教育コンテンツ制作ユニット「アクロストン」をお招きして、ワークショップと包括的性教育のお話会開催</p> <p>24年9月27日 「ジェンダー平等な関係の作り方を考える交流会」 講師にWEKプロジェクト理事長「坂井美津江さん」をお招きして、「ジェンダー平等の作り方」の講演と参加者による「アンコンシャスバイアスを考える」ワークショップと交流会を開催</p> <p>25年2月13日 ドコモ市民活動団体助成事業ガールスカウト石川県第7団主催「大人の性教育研修会」にボランティアスタッフ参加</p> <p>25年3月30日 ドコモ市民活動団体助成事業ガールスカウト石川県第7団主催「大人の性教育研修会」にボランティアスタッフ参加</p>
(2) 得意分野・活躍できること	看護師、整体師など多職種のメンバーとガールスカウト、ボーイスカウト活動経験者が所属しています。包括的性教育の人権分野「こころの権利」をゲームやクラフトを用いて体験型のワークショップを開催できます。医療関係のメンバーによる「からだの権利」を科学的に正しく楽しく学ぶ仕掛けを作ることができます。
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	
HP,SNSのURL	https://www.instagram.com/takeastep2024/ (Instagram)

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者・団体概要」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者・団体概要」部分のみです。

【4】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ 未来共創計画 基本方針一覧
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針3_人づくり	(2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
協働を希望する課名	ダイバーシティ人権政策課
企画のタイトル	「わたしの体はわたしのもの」子供の自己決定能力を育む金沢に！
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	<p>石川県は2024年度も「共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差」で最下位でした。日常のジェンダー不平等は災害時に表面化しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年能登半島地震の避難所では人々の世話（調理・掃除・介護）をする役割は女性の責任となりました。 ●不平等を感じた若い女性たちは地域を離れていきました。 <p>災害は女性が二重の犠牲者（災害の犠牲者・災害後の責任の犠牲者）となる環境を作り出します。</p> <p>2023年6月に「同意なしの性行為は処罰の対象」となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私たちは同意とはどういうものか理解しているでしょうか ●人と人との距離感（境界線バウンダリー）を意識して生活していますか <p>今一度私たちのコミュニケーションの常識を再構築しましょう</p> <p>出典 彩りあふれる能登の復興へ令和6年能登半島地震の女性の経験と思いに関するヒアリング調査 https://hokuriku-mf.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/noto_report.pdf</p> <p>2024年のNoto地震に関する考察：北村美和子博士 https://blogs.ucl.ac.uk/irdr/2024/05/03/reflections-on-2024-noto-earthquake-do-we-need-to-pay-more-attention-to-the-human-element-of-disaster/?fbclid=IwY2xjawl8ag5leHRuA2FibQlxMAABHZq_nanqm5GwWeO26wEzY5-c0Yt7TVvnJ3gJNICdXfAlodllHqxGsJcVQ_aem_7G57mHlidJidrX2JiT6zRA#:~:text=mitigation,preparedness%20in%20Japan%2C%20beyond%20a</p> <p>都道府県版ジェンダー・ギャップ指数 https://digital.kyodonews.jp/gender2025</p> <p>法務省 https://www.npa.go.jp/bureau/criminal/seihanzaigaiyou.pdf</p> <p>朝日新聞 https://www.asahi.com/edua/article/14236436</p>

<p>②ねらい・コンセプト</p> <p>(①で記載した課題解決のために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等) 	<p>《アプローチの方向性》</p> <p>講座とワークショップを楽しく開催することで、自分や周りの人を守る「こころやからだの権利」について語り合える場を作りたい。</p> <p>《工夫する点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生理や精通など体の講座は医療関係者をお招きする（性教育の信頼度が上がる、講演を聞き、楽しく科学的にお話されている方を選びました） ●自分の人権を守る「境界線と同意」のワークショップを明るく楽しく Take a step で開催します。 <p>《協働する意義》</p> <p>包括的性教育は人権教育、多様性の時代を豊かに生きるための知識ともいえます。協働課と一緒に市民のみなさんに知っていただき金沢に広まっていくことを希望します。広報面でも昨年多大な力をいただきました。</p> <p>《市民が共感できる点》</p> <p>すこしずつですが理解者が増えてきました。しかし、この教育を知らない方が多いのは昨年の活動で実感しました。</p> <p>刑法も変わり、「こころとからだの権利」を子供たちが理解することは大切です。団体の名前のように「一歩ずつ前へ」広げていきます。</p>
---	---

③実施内容案

年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください
事業スケジュールひな形

■専門家によるわかりやすい講座と体験型ワークショップを3回連続開催します。

第1回 講座+ワークショップ

実施予定時期：25年9月～12月 日中 1回

●おはなし 先進地の講師から学ぶ思春期親子講座（60分）オンライン会議形式で。参加者は会場に集合してこちらの準備した用品を用いて実験を体験する。

講師：渡邊安衣子氏 助産師・看護師・京都あいこ助産院院長、株式会社PLATICA代表取締役、（公社）京都府助産師会理事 ※別紙1参照

●ワークショップ 同意ってなに？「キミはキミの王国の国王なんだ」（45分）シールや工作用品を使って、自分の（境界線バウンダリー）を考えるワークショップ

進行：当団体メンバー

予定場所：石川県立図書館など（親子の集まる図書館などでフォームでも事前に受け付けるが当日参加も受け入れたい）

参加費：無料

対象者（ターゲット）：小学生親子15組、包括的性教育指導者を志す成人5名

第2回 講座+ワークショップ

実施予定時期：25年9月～12月 日中 1回

●おはなし 県内の講師から学ぶ思春期親子講座（60分）石川県内で活躍する性教育講師から地域特性をまじえて学ぶ

講師：川島真希氏 まき助産院 助産師 社会福祉士 ※別紙1参照

●ワークショップ 同意ってなに？「キミはキミの王国の国王なんだ」（45分）

予定場所：石川県立図書館など（親子の集まる図書館などでフォームでも事前に受け付けるが当日参加も受け入れたい）

参加費：無料

対象者（ターゲット）：小学生親子15組、包括的性教育指導者を志す成人5名

第3回 講座+ワークショップ

実施予定時期：25年9月～1月 夜 1回

●おはなし 私たちを守る薬の講座（60分）低用量ピル、痛み止め、緊急避妊薬など困ったときに役立つ薬のお話

講師：山本亜弥氏 薬剤師 ※別紙1参照

●ワークショップ 同意ってなに？「キミはキミの王国の国王なんだ」（45分）

予定場所：金沢学生のまち市民交流館

参加費：無料

対象者（ターゲット）：男女問わず高校生以上 15名

実施報告紙の作成：

講座とワークショップの実施概要をわかりやすく紹介します。「境界線バウンダリー」の簡単な作り方も紹介します。活動記録と活動紹介として活用します。

広報・周知の方法：チラシ配布とSNS、金沢市広報媒体の活用、プレスリリース

年間事業スケジュール案：

6～7月 事業企画の整理、実施の準備

7～9月 広報、参加者募集

9～1月 第1・2・3回 講座・ワークショップを開催

2月 報告紙を作成

年間スケジュール案

事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 広報・周知	事前準備	●	●	●	●	●	●			
(2) イベント実施・ 成果発表会			●		●		●			●
(3) ふりかえり 報告書作成			●		●		●		●	

事業効果	※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。
期待できる事業効果 (広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか等)	<p>金沢市男女共同参画推進行動計画「かなざわ未来 奏でプラン2023」から、男女共同参画社会の実現のために、ジェンダーによる固定的な性別役割分担意識の解消に向け、正しい知識を持ち、その必要性を理解することが大切であり、目標に向けて必要なジェンダーの平等について、金沢市の未来を担う子供世代から広めていくことが必要と考えました。私たちは、性をめぐる様々な要素を含む包括的性教育を通して、子どもや若者たちが性にまつわる自分たちの権利、社会の状況、構造を知り、そのうえで意思決定をしたり、自分たちの権利保障について意見表明をし、自他の幸福を実現していくための手助けをすることを目指します。</p> <p>協働の効果</p> <p>昨年度ダイバーシティ人権政策課との協働で、多くの団体とのつながり、広報では、チラシを多くの施設に配布しました。</p> <p>講師の坂井美津江さんを紹介いただき活発な交流会となりました。</p> <p>人権教育である包括的性教育を金沢に広めるために、ジェンダー平等に取り組むダイバーシティ人権政策課との協働が効果的であると考えました。</p> <p>まだまだ団体の信頼度が低いので協働課のお力を借りて認知度を上げていきたいと思っています。</p>
その他 特記事項 (今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか等)	<p>私たちは「生理のことは人前で話すものではない」「男の人には話してはいけない」と教わっておかしいとも思わず過ごしてきました。ガールスカウトのプログラムで、包括的性教育の学びを知り、無意識に当たり前と思っていたことが「おかしい」と感じはじめました。これを周りの人へ言葉にしてみると理解が得られない。金沢はまだ生理や精通など、性のことを話題にすることはタブーな段階だと知りました。特に包括的性教育は「境界線と同意」の考え方などの、人権に重きをおいています。私自身も「境界線と同意」を意識しないと子どもの境界線に踏み込んでいることに気づき、ハッとさせられることがあります。2023年6月に「同意なしの性行為は処罰の対象」となりました。私たちは同意をきちんと理解しているのでしょうか。令和6年能登半島地震で明らかになったジェンダーの不平等も包括的性教育の分野です。この金沢で共に学び、学びを広げていくことで、これから大人になる子供たちが、自分の体を科学的に理解し、守り、性別によって将来を諦めることなく過ごしてくれることを希望します。</p>



1 渡邊安衣子（わたなべあいこ）氏

助産師・看護師 愛知県出身。名古屋大学医療技術短期大学部（現・名古屋大学）看護学科・助産学科卒業。総合病院産婦人科・小児科、助産院、京都市こどもはぐくみ室勤務の後、現在は京都市左京区にあるシェア助産所「出張さんばステーション聖護院」にて、出産のサポートを行なっている。学生の頃から続けているライフワーク

としての性教育活動では、幼児～大学生、保護者、教員、専門職等、幅広い対象者に、（約 100 件講演／年）、人権ベースの包括的性教育の普及に努めている。京都あいこ助産院院長、株式会社 PLATICA 代表取締役、（公社）京都府助産師会理事、中・高・大学生の 3 児の母、京都市在住。

*** 総合病院、助産院、新生児訪問と、もっともっと女性の暮らしに近づきたいと勤務先も変わってきました。現在は、開業助産師として、オンラインでも対応可能な、女性のための相談室を開設しています。様々な場所で働いてきましたが、性教育活動は学生の頃からずっと継続しており、20 年を超えました。ここ最近では、親のため、先生のための性教育講演のご依頼が多いのですが、講演の後は必ず個別相談の列ができます。「誰にも言えなかった。」「どこに相談してよいのか分からなかった。」と、こらえきれない涙を流す女性たちと日々向き合っています。助産師は女性の一生のサポーターであることは、妊産婦さんへの対応時だけでなく、性教育活動からも実感しています。マイ助産師として、「とりあえず、あいこさんにきいてみよ」そんな気楽な助産師でありたいなと思っています。

2 川島真希（かわしままき）氏

まき助産院 助産師 社会福祉士 平成 11 年看護師、平成 14 年助産師資格取得
医療機関での勤務助産師を経て、平成 22 年 4 月まき助産院開業 白山市千代野在住
*** 行政委託の赤ちゃん訪問等のほか、地域の子育て支援を中心とした助産業務に従事。多くの親子に関わるなかで、親になる前からの支援の重要性を実感し、開業と同時に誰も死なせたくないという想いで性教育に従事。令和 5 年社会福祉士資格取得。医療と福祉の連携を模索しながら、地域子育て支援といのちの健康教育を実践しています。

3 山本亜弥（やまもとあや）氏

薬剤師 日本女性医学学会に所属、学会認定女性ヘルスケア専門薬剤師、日本臨床

栄養協会：NR.サプリメントアドバイザー 北陸大学薬学部薬学科卒 大学生の娘
2人の母 金沢市出身、在住

***総合病院（金沢西病院）、ドラッグストア（株式会社コメヤ薬局）、薬局
（株式会社ナチュラルライフ 現・北陸クオール株式会社）での勤務を経て現在、
金沢市寺町にある医療法人社団鈴木レディスホスピタルにて勤務、女の子からおば
あちゃんまで、全年代の女性の健康をサポートすることが目標。これまでにこども
園で、幼児や親子むけ、児童クラブ、高等学校等で年齢に応じた健康や性に関する
講話を実施。

Take a step 作成・開催

「境界線と同意」のワークショップ

キミは キミの国の 国王



子どもを守る言葉「同意」って何? YES、NO は自分が決める!

レイチェル・ブライアン (著),
中井 はるの (翻訳)

10歳までに知っておきたい 子どもを一生守る「からだ・こころ・権利」の話

やまがたてるえ (著), 渡邊安衣子 (著)

など包括的性教育分野の書籍を基に作成・開催します。

例えば

- 自分の国の「境界線」づくり
- 他の国との「交渉（同意）」

をクラフトとワークで展開するワークショップ